



ちや ろ 茶 路 小 中 学 校

開 校／小学校 明治34年7月15日

中学校 昭和23年7月8日

所在地／白糠町マカヨ1番地1

TEL (01547) 2-2797 FAX 2-4985

学校長／伊 藤 善 一

教 頭／野 田 哲 史



- ◆教育目標
- 思いやりのある 心のやさしい子（情）
 - よく考え すすんで学ぶ子（知）
 - ねばり強く やりぬく子（意）
 - 健康で たくましい子（体）

◆特色ある教育活動等

「施設一体型」「少人数」「地域に根差す学校」という茶路ならではの強みを生かして、系統性・連続性のある指導実践に取り組み、子供の良さや可能性を最大限に引き出す教育活動を行っています。各教科においても、目指す姿（15歳像）と9年間の学びを整備し、小中一貫教育を進めています。

① プランニングノートの活用

学校での学習を振り返り、家庭での学習に連動させる「学びの輪」の定着・充実を図るため、プランニングノート（通称Pノート）を活用し、児童・生徒と家庭・教員間の連携を密にした取り組みをしています。

② ECタイム

英語・中国語の学びを通して、未来を生きる子供たちに国際社会を生き抜く力を育てています。

③ スピーチデイ

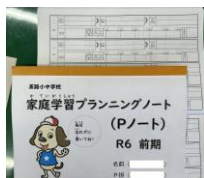
児童生徒がテーマに沿ったスピーチを行うとともに、質問、感想、アドバイス等を交流することで、「話す力」「聞く力」といったコミュニケーション能力を高めたり、相互理解を深めたりしています。

④ 小学校への乗り入れ授業

小6の理科と社会、小5・6年の外国語、小2～4年の外国語活動、小3～6年の音楽に教科担任制を導入し、通年にわたり中学校の先生が授業を行っています。また、小6の国語・算数でも、中学校教員が小学校で数単元の乗り入れ授業を行っています。

⑤ なわとびチャレンジ

継続的になわとびに取り組み、基礎体力の向上を目指しています。子供たちは、同じ学級の人や、縦割り班の人と教え合ったり励まし合ったりしながら、他の人との競争ではなく、一人一人が目標を立て、その達成に向けて努力を続けています。



Pノート



ECタイム



スピーチデイ



音楽乗り入れ



なわとびチャレンジ